

2026年度 老健施設向けDX推進リーダー 育成講座 今年も開催

老健経営にDXは必須 導入に必要な知識を学べる

老健施設を取り巻く環境は、大きく変わりつつある。人材確保はますます困難となり、現場職員の業務負担は増大している。一方で、LIFE、介護情報基盤、電子的な情報共有、ICT機器、見守り機器、生成AIなど、施設運営を支える新しい仕組みは急速に広がっている。もはやDXは、一部の先進施設だけの取り組みではない。全国の老健施設が、限られた人員で質の高いケアを継続するために、避けては通れない経営課題となっている。

昨年度、全老健では、老健施設におけるDXの基本的な考え方と最新動向を学ぶ講座を実施した。今年度はその成果を踏まえ、さらに一步進めて、「老健DXを実際に始め、広げ、定着させる」ことを目標とした2年目の系統講義を実施する。本講座は、単なる制度解説や機器紹介にとどまらない。介護情報基盤と補助金の活用、ICTツールの選定、エクセルを用いた業務効率化、介護記録・看護記録ソフト、コミュニケーションツール、ネットワーク、セキュリティ、クラウド型ファイル共有、生成AI、LIFEの活用まで、現場導入に必要なテーマを全10回で順序立てて学ぶ構成である。

経験から学べる実践例を紹介 厚労省の助成金対象で受けやすく

大きな特徴は、各回に先行施設の導入体験事例を組み込んでいる点である。DXは、パンフレットを読んだだけでは進まない。どのような課題から始めたのか、職員の抵抗をどう乗り越えたのか、導入後に何が変わったのか。実際に取り組んだ施設の経験から学ぶことが、受講者にとって最大のヒントとなる。本講座では、複数の領域での実践例を紹介し、「自施設なら何から始めるか」を考える機会を提供する。

特に今年度は、生成AIを2回にわたり取り上げる。生成AIは、老健施設にとって遠い技術ではない。研修資料

の作成、家族向け説明文、議事録、事故報告書の下



書き、施設内マニュアルの整理など、業務のさまざまな場面で活用できる可能性がある。一方で、個人情報保護やセキュリティ、職員教育を欠いた利用は危険である。本講座では、「使えること」と「使ってはいけないこと」の双方を整理し、老健施設にふさわしい生成AI活用を学ぶ。

開催期間は8月26日から2027年1月27日の予定でオンライン講座となる。受講料は会員施設25万円であり、1施設当たり最大3名まで受講が可能である。事務長、看護・介護・リハビリ部門の管理者、ICT担当者、LIFE担当者など、役割の異なる複数名で受講することで、学んだ内容を施設内で共有し、実際の業務改善につなげやすくなる。また本講座は、厚生労働省の人材開発支援助成金、事業展開等リスクリング支援コースの対象講座であり、所定の条件を満たすことで受講費用の大部分が助成金として還元される。DX人材育成の必要性を認識しつつも、費用面が参加の障壁となっていた施設にとって、極めて現実的な制度設計である。

老健DXの目的は、機械を入れることではない。職員の負担を減らし、情報共有を円滑にし、ケアの質を高め、利用者と家族に安心できるサービスを届けることである。今年度の全老健DX講座は、その第一歩を具体的に踏み出すための実装型講座である。ぜひ各施設から複数名で参加し、自施設のDX推進に役立てていただきたい。

本講座を受講すると助成金*が出ます!

※厚生労働省人材開発支援助成金(事業展開等リスクリング支援コース)

本講座の受講料 250,000円(会員施設)

3人受講なら、262,400円の助成金

1人受講なら、212,500円の助成金

施設の負担は
実質ゼロ(▲12,400円)

施設の負担は
実質37,500円

●上記は、従業員100人以下の老健施設の場合。助成金は、経費助成(助成率は1人当たり受講料の75%)と資金助成(1人1時間1,000円)の合計。なお、従業員100人超の老健施設の場合は、経費助成は1人当たり受講料の60%、資金助成は1人1時間500円。

育成講座の内容とスケジュールはp.38をご覧ください。

2026年度 老健施設向けDX推進リーダー育成講座 スケジュール

		内 容	講 師
1	2026年 8月26日(水)	DXとは、老健におけるDXとは何か	国際医療福祉大学 高橋 泰
		国の提唱する医療・介護情報基盤を知る ～効率的な情報連携を会得するには～	全国老人保健施設協会 副会長 高橋 肇
2	2026年 9月9日(水)	介護情報基盤助成金の活用方法とは 「これならできる！から始めるDX」	株式会社ビーブリッド 竹下康平
		導入体験事例 1 全館Wi-Fi、タブレット、情報共有ツール、見守りシステム	ユニットケア泉(宮城県仙台市)
3	2026年 9月30日(水)	現場に合ったツールを選ぶ視点と比較方法、 ICT導入後の効果測定と職員の継続教育	株式会社ビーブリッド 竹下康平
		導入体験事例 2 スマホ、ハナスト見守り、ノーリフト	六和会センチナリアン (大分県日田市)
4	2026年 10月14日(水)	エクセルをこう使うと作業効率アップ	国際医療福祉大学 高橋 泰 株式会社ビーブリッド スタッフ
		介護記録・看護記録ソフトの使い方と効果的な活用	株式会社ビーブリッド 竹下康平
5	2026年 10月28日(水)	コミュニケーションツールと個人情報保護の基礎と 家族との情報交換	国際医療福祉大学 高橋 泰
		システム構築全般：運用体制、ネットワーク構築(Wi-Fi等)、 関連補助金情報	株式会社ビーブリッド 竹下康平
6	2026年 11月25日(水)	セキュリティ基礎(個人情報保護・セキュリティポリシー)・ バックアップ(共有情報の保護)	国際医療福祉大学 高橋 泰
		導入体験事例 3 スマホ：導入と施設内普及	ひむか苑(宮崎県宮崎市)
7	2026年 12月9日(水)	ファイル共有と基盤ツール	国際医療福祉大学 高橋 泰
		導入体験事例 4 基盤ツール：導入と施設内普及	陽翠の里(石川県能美市)
8	2026年 12月23日(水)	人工知能と生成AI入門	国際医療福祉大学 高橋 泰
		生成AIを使った医療介護現場での応用	東日本税理士法人 長 英一郎
9	2027年 1月13日(水)	老健における生成AIの活用	国際医療福祉大学 高橋 泰
		導入体験事例 5 生成AIを中心とした導入と施設内普及	大誠苑(群馬県沼田市)
10	2027年 1月27日(水)	LIFEを理解する ～老健事例をもとに～	全国老人保健施設協会 副会長 高橋 肇
		導入体験事例 6 介護からみた地域情報連携：施設内導入から普及まで	高橋病院、ゆとりろ (北海道函館市)

お申し込み開始時期は6月後半、詳細は本誌7月号に掲載の予定です。